

# かくだ

Kakuda city

市議会だより

第165号

平成24年2月1日



▲第6回議会報告会開催のようす（平成24年1月23日 藤尾自治センターにて）

## ■ おもな内容 ■

<b>第360回定例会</b> .....	2～7
◇本会議の概要 .....	2
◇審議結果一覧 .....	3
◇陳情の処理 .....	3
◇意見書の提出 .....	3
◇一般質問 .....	4～7

◆特別委員会活動報告	
◇(仮称)仙南クリーンセンター建設に向けての議会の取組み .....	7
◇角田市農業の館の管理運営に関する調査特別委員会 .....	7
◆2月定例会日程（予定） .....	8
◆議会日誌 .....	8
◆編集後記 .....	8

条例議案、補正予算議案など  
20件の議案が審議されました。

第360回定例会は12月8日に招集され、市長提出議案が19件、議員提出議案が1件、あわせて20件の議案が提案されました。そのうち、条例議案・指定管理者の指定について及び大河原町外1市2町保健医療組合規約の変更に関する議案については、所管の常任委員会に付託しました。上程された議案は、それぞれ慎重に審議され、農業の館の管理運営に関する指定期間の延長に関連する議案については、修正議案が出され修正案は、可決されました。本定例会は、15日間の会期を経て同月22日に閉会しました。

本会議

◎第1日(12月8日)  
会期を15日間と決定した後、固定資産評価審査委員会委員の選任の人事案件について審議し、採決の結果原案のとおり同意しました。次に、市長提出議案について提案理由の説明がありました。

◎第2日(12月14日)  
本会議初日に提案された18議案に対し、本田敏昭議員、柄目孝治議員、今野林一郎議員、日下七郎議員の4名が質疑を行いました。また、条例議案2件と障害者就労支援施設「のぎく」、金津児童センター・北郷児童センター及び北郷児童クラブを管理させる団体(指定管理

者)を指定する議案及び大河原町外1市2町保健医療組合規約の変更に関する議案については、所管の常任委員会に付託しました。その後、議員間の自由討議を実施し、相澤邦戸議員と柄目議員の通告に基づき、活発に意見交換を行いました。

◎第3日(12月20日)  
今定例会には市長提案に対して2つの修正動議が出されました。いずれも農業の館の指定期間の延長に対するもので、「2年延長」の市長提案に対し、「1年」とする修正案が渡邊誠議員から提出されました。これについては、谷津睦夫議員が「施設の管理運営上の問題と上程趣旨の論点を分けて考えるべき」とする反対討

論を行いました。一方、日下議員と齋藤正一郎議員は、「農業の館の管理運営については再三議会でも問題提起されているにもかかわらず、今回の提案がなされた事は遺憾であり、問題の解決なしに指定期間を延長することはできない」として、修正案の賛成討論を行いました。採決の結果、賛成多数で修正案は可決されました。次に、条例の一部改正2議案と補正予算6議案について審議し、それぞれ採決の結果、原案のとおり可決されました。

また、農業の館を除く指定管理者の指定期間の変更に関する4議案について、日下議員が反対討論、谷津議員、齋藤議員が賛成討論を行い、採決の結果、賛成多数で可決されました。

決の結果、賛成多数で可決されました。その後、一般質問が行われ、3名の議員が市政全般について質問を行いました。(4～5ページ参照)

◎第4日(12月21日)  
前日に引き続き、4名の議員が一般質問を行いました。(5～7ページ参照)

◎第5日(12月22日)  
相澤教育厚生常任委員長より、指定管理者の指定等の付託議案の審査結果について報告がありました。日下議員が反対討論、谷津議員が賛成討論を行い、表決の結果、可決されました。また、細川健也総務財政常任委員長より、職員の給与に関する条例等の一部改正議案の審査結果について報告がありました。日下議員が反対討論、谷津議員が賛成討論を行い、表決の結果、賛成多数で可決されました。

人事案件  
▼固定資産評価審査委員会委員の選任  
任期満了に伴う固定資産評価審査委員会委員の選任について同意するもの。任期は平成23年12月26日～平成26年12月25日。  
黒田正敏 氏(再任)

主な補正予算の概要  
▼一般会計(第7号)  
歳入・歳出予算にそれぞれ2億2,685万7千円を追加補正するものです。歳入の主なものは、地方交付税、国・県支出金及び市債の追加で、歳出の主なものは、次のとおりです。  
○小・中学校防災用デジタル無線機購入費  
○放射能除染用高圧洗浄機等購入費  
○台風15号による農業用施設・公共土木施設の災害復旧費

また、債務負担行為補正として、角田市障害者就労支援施設のぎく指定管理料等15件を追加、行政システム借上料を変更するものです。

その他

▼大河原町外1市2町保健医療組合規約の変更  
みやぎ県南中核病院等を運営する「大河原町外1市2町保健医療組合」の企業団化(注)に伴う、同組合規約の所要の変更をするもの。  
(注)「企業団」になると、地方公営企業法の適用により、独立採算制の公営企業として病院事業を行うことになる。執行機関の長として、新たに企業長を置く。

陳情の処理

▼北角田中学校通学路の安全確保を求める陳情  
角田市江尻字前原50番地北角田中学校区教育振興会会長 伊藤善昭 市当局へ要請しました。

意見書の提出

▼東京電力(株)福島第一原子力発電所事故に伴う原子力損害賠償範囲の拡大に関する意見書の提出  
賠償紛争審査会は原発事故との因果関係が認められる地域として福島県に賠償対象としているが、福島県に隣接する宮城県南市町の空間放射線量は、福島県内市町村と同様の数値を示しており、国の除染対象の「汚染状況重点調査地域」にも指定されることから放射能汚染に県境はない。以上のことから、賠償範囲の拡大を要望する。

表1 第360回定例会 審議結果一覧  
議員数は18名。議長は表決に加わらないため、表決に参加した議員数は17名。(○…賛成、×…反対)

件名	議決年月日	議決結果	会派				
			クラブみんしん	政友会	市民クラブ	日本共産党角田市議団	無党派
人事案件 固定資産評価審査委員会委員の選任について	12月8日	同意	○	○	○	○	○
条例 議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例及び角田市放課後児童クラブの設置及び管理に関する条例の一部改正について/特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	12月20日	可決	○	○	○	○	○
例 角田市老人寮条例の廃止について	12月22日	可決	○	○	○	○	○
職員給与に関する条例等の一部改正について	12月22日	可決 (賛成15 反対2)	○	○	○	×	○
平成23年度補正予算 一般会計(第7号) (農業の館の指定管理期間を1年とする修正案)	12月20日	修正可決 賛成9 反対8	×	○	○	○	○(2) ×(3)
一般会計(第7号) (上記以外の部分)			○	○	○	×	○
国民健康保険事業特別会計(第2号) 後期高齢者医療特別会計(第2号) 介護保険特別会計(第3号) 公共下水道事業特別会計(第5号) 農業集落排水事業特別会計(第5号) 水道事業会計(第3号)	12月20日	可決	○	○	○	○	○
指定管理者の指定の期間の変更について (みやぎ山南農業協同組合)	12月20日	修正可決 (賛成9 反対8)	×	○	○	○	○(2) ×(3)
指定管理者の指定の期間の変更について (財団法人角田市地域振興公社)	12月20日	可決 (賛成15 反対2)	○	○	○	×	○
指定管理者の指定の期間の変更について (社会福祉法人角田市社会福祉協議会)			○	○	○	×	○
指定管理者の指定の期間の変更について (角田市観光物産協会)			○	○	○	×	○
指定管理者の指定の期間の変更について (マルチプライ株式会社)			○	○	○	×	○
指定管理者の指定について (社会福祉法人角田市社会福祉協議会)	12月22日	可決 (賛成15 反対2)	○	○	○	×	○
大河原町外1市2町保健医療組合規約の変更について							
議員提出議案	議決年月日	議決結果	クラブみんしん	政友会	市民クラブ	日本共産党角田市議団	無党派
意見書 東京電力(株)福島第一原子力発電所事故に伴う原子力損害賠償範囲の拡大に関する意見書の提出について	12月22日	可決	○	○	○	○	○

- ◀各会派の構成メンバー▶
- クラブみんしん(谷津睦夫、今野林一郎、細川健也、相澤邦戸、柄目孝治)
  - 政友会(渡邊誠、齋藤正一郎)
  - 市民クラブ(本田敏昭、小島正、湯村勇)
  - 日本共産党角田市議団(日下七郎、八島定雄)
  - 無党派(会派に属さない議員)小湊毅、馬場道晴、伊藤善昭、玉手安博、佐藤正友議長、高橋力雄副議長





放射能対策について

馬場道晴 議員

議員▼保育所・学校給食で使用される食材、調理後の給食も厳しく検査を行い、すべてのデータを記録保存していただきたい。給食専用の放射能測定器、ストロンチウムも測定可能な機種を最低でも各所2台は導入すべきです。

市長▼給食センターはすべて不検出の食材を使用しています。調理後の給食の放射能測定結果は、今後、国・県の動向を勘案します。検査実施は課題も多く今後、実施の可能性を含め検討したいと考えています。データの記録保存は保育所給食・学校給食すべて記録保存しています。測定器の増設は、消費者庁の貸与申請の準備を進めています。議員▼家庭でできる調理の際の食品に含まれる放射能の減らし方、「田畑や家庭菜園での放射能の減らし方」の取り組みが重要です。ハウツー本を作成し各家庭に配布すべきです。

市長▼各家庭の食卓の段階から放射能の低減に取り組んで頂くようにしたいと思っており、冊子の内容は今後検討をしたいと思えます。

市長▼宮城県ホームページへの掲載をはじめ被害の及ばなかった姉妹都市友好都市、災害協定を締結している自治体などホームページ代理掲載すべきです。

議員▼除染の最終目標、着地点をどのように考えているか伺います。

市長▼市の除染基本方針は、長期的な目標として年間追加被曝線量が1ミリシーベルト以下になることを基本にしています。日常の生活を営む環境は、平成25年8月末までに、年間追加被曝線量を現在の線量と比較して約50%減少した状態を実現させることを目指しています。

放射能除染対策等について

八島定雄 議員



市長▼測定方法は極めて複雑な工程と長い時間が必要とされるため、ストロンチウムに関する測定については、市で取り組んでいくというのは難しく、県に要望したいと思えます。

議員▼家庭ごみを自ら指し、ごみ収集における市民サービスの向上について

市長▼協定の内容を検証し、今回の東日本大震災の教訓を踏まえた内容に見直すとともに、市庁舎機能移転の項目を加えるなど、充実と強化を図りたいと思っています。

議員▼放射線物質を含む除染した土壌や側溝の汚泥等の処分をどうするか伺います。

議員▼常磐自動車道山元ICから市内中心部に直結する角田山下線の開通により、市内への交通量が増加しています。特に主要地方道角田山元線と市道角田橋半田線のT字路で接続する角田橋付近は、日ごろ大変な混雑が見受けられる状況です。朝夕の通勤ラッシュ時や催しがある際の交通は混雑を極め、特に県道・市道からの右折は大変危険です。

議員▼常磐自動車道山元ICから市内中心部に直結する角田山下線の開通により、市内への交通量が増加しています。特に主要地方道角田山元線と市道角田橋半田線のT字路で接続する角田橋付近は、日ごろ大変な混雑が見受けられる状況です。朝夕の通勤ラッシュ時や催しがある際の交通は混雑を極め、特に県道・市道からの右折は大変危険です。

議員▼常磐自動車道山元ICから市内中心部に直結する角田山下線の開通により、市内への交通量が増加しています。特に主要地方道角田山元線と市道角田橋半田線のT字路で接続する角田橋付近は、日ごろ大変な混雑が見受けられる状況です。朝夕の通勤ラッシュ時や催しがある際の交通は混雑を極め、特に県道・市道からの右折は大変危険です。

▲渋滞する角田橋付近

自然エネルギーによる発電への取り組みについて

小湊 毅 議員



議員▼福島第一原発事故による不安定な電力供給は、深刻な問題です。自然エネルギーの導入は、この問題を解決する鍵となります。市として積極的に取り組むべきです。

議員▼慎重に対応すべきだと思います。議員▼温室効果ガス削減に貢献する自然エネルギーの導入は、市民の健康と環境を守るためにも必要です。積極的に導入すべきです。

議員▼側面のみコンクリートの側溝は底をコンクリートで整備すべきです。また、土側溝の整備は、水の浸透を促し、地盤の安定に貢献します。市として積極的に取り組むべきです。



角田中央公園周辺の交通安全対策と市道の新設について

伊藤善昭 議員

議員▼角田中央公園周辺の交通安全対策として、歩道の拡充や信号機の設置が重要です。また、市道の新設は、交通量の増加に対応するためにも必要です。積極的に取り組むべきです。





市長の所信について

湯村 勇 議員

思を固めたところだ。

協働のまちづくりについて

議員▼来年夏に改選期を迎える市長選について、大友市長は出馬される考えがあるのか伺います。  
市長▼東日本大震災による災害復旧・復興に全力で努めているところで、これから本格的な除染をしていくという大変な大仕事が続いていきます。その上で、市民とともにつくり上げてきました新しい都市像であり、一人ひとりが輝く田園交流都市かくだ。この実現に向けて全力で取り組んでまいらなければなりません。市政のこういった新たな課題が山積している状況で、まさにこれからが正念場を迎える時だと思っております。市民の幸せのために、そして、キラリと光る、魅力ある豊かな角田市にするためにこの身を投げ打って粉骨砕身、力の限り働かせていただきます。という思いです。2期目について出馬の意

く場合には、地元の議員が協議の場に入っていたら、だくべきであったと反省しております。  
なお、ほとんどの地区振興協議会では議員は顧問という立場で入っている状況です。

図書館の充実について

議員▼子ども図書館は完成したものの、施設全体を考えた時、充実した図書館というには物足りない感じがしてなりません。大震災による市民センターの改修に図書館を含めた改修構想をどう考えているのか。  
市長▼現在、市民センターは大震災により大改修を余儀なくされています。今後、この改修の基本設計を進める中で、図書館のあり方についても前向きに検討し、より多くの皆様に親しまれる図書館を目指してまいります。

進めているわけですから、地域の関係者の方々が集まって話し合いをして決定する。そうしたプロセスが大変重要だと思っておりますので、協働の理念を再認識しながら層の推進を図りたいと思っております。今回のような横倉地区の重要案件を決定して



小田川流域の排水対策について

小島 正 議員

議員▼大沼堤防西側農田が冠水する最大の要因は何であると認識していますか。  
市長▼小田川の水位の上昇に伴い小田川の排水樋門が閉じ、自然排水ができなくなり、内水により区域内の農田が冠水しています。地形的に小田川との高低差がなく低地であることが大きな要因であると考えています。  
議員▼自然災害の中での人的災害であると思うが、市長はどう思いますか。  
市長▼農地を災害から守るといふことではいろいろ工夫してきたところですが、なかなか自然の力にかなわないという状況が地形上あると思います。  
議員▼小田川が増水するたびに農地は冠水、道路は通行不能となり、日常生活に支障をきたします。行政はこの現状をどう認識し、どのような対策を講じてきたのか伺います。  
市長▼小田川の河川改修は、平成18年から再開され、現在、築堤工事を継続して実施しています。農地の排水について大きな影響を与えるものだと考えており、早期完成に向けて県に要望していきたいと思います。  
議員▼この地域は遊水池の役割を果たしていることから、冠水に対する補償をすべきと思うが、市長の考えを伺います。  
市長▼小田川の河川改修計画では、この地域は遊水池の位置づけではないため難しいと考えています。また、補償より、大雨時の冠水被害をいかに軽減できるか検討し対策を講じることが重要だと思っております。

納税事務の取り扱いについて  
議員▼これまで、納税貯蓄組合は合計納付書で納付してきたが、市役所のコンピュータシステムの変更により、今後は納税義務者ごとの納付書となり、金融機関では決済に多くの時間を要すると想定されるが、どのように考えているのか。  
市長▼納税貯蓄組合における合計額納付通知書による取り扱いは、県内では角田市のみです。現在、金融機関に変更内容を説明し事務が滞ることのないよう御協力をお願いしているところです。  
議員▼どの程度、市において経費削減されるのか。  
市長▼市のシステム全体で、5年間総額1億8,800万円ほどの経費削減が見込まれます。  
議員▼市役所だけが経費削減し、300組合中275組合、約90%以上の納付事務を取り扱っている、みやぎ仙南農業協同組合だけに経費負担をさせる結果になると思うがどうか。  
市長▼みやぎ仙南農業協同組合にできるだけ負担が増えないよう、今後、話し合いをしていきたいと思っております。

○農地を守る施策について

議員▼被災者から私に、倒壊家屋等の処理委託の既決予算の執行が遅れているとの相談が寄せられています。事務執行の遅れが原因と年内の改善が可能な場合があります。  
市長▼ご指摘のありました事務執行の遅れについては、既に所有者が解体した25棟の家屋の解

災害等廃棄物の処理について

日下七郎 議員



体・撤去費の支払いが遅れており、現在、急いで対応しているところですが、国・県の指示では、市から業者に費用の支払いをすることとなっていることから、家屋所有者から業者へ支払われた代金については家屋所有者へ返還するような手続になっていました。しかしながら、9月、家屋の所有者や施工業者との意向確認において、工事費用を家屋所有者に一たん返還する方法は資金的に非常に厳しいという意見を多数いただいたことから、直ちに調査検討をしたところ、市から家屋所有者に直接支払う手続が可能であることが判明したため、10月末にその手続に改められました。提出していただく追加資料が必要になることもありますが、遅くとも来年1月末には全て支払いを完了するよう進めます。

農地の放射能除染について  
議員▼厚生労働省は、平成24年4月1日施行で食品に含まれる放射性物質の基準見直し、放射性セシウムの暫定基準の年間被ばく限度について、現行の5ミリシーベルトから1ミリシーベルトに引き下げ、厳格化する方針

です。そこで、角田市内の農地は、福島第一原子力発電所の事故後に耕耘してありますので、「ゼオライト（土壌改良資材）の施用による植物への土壌中の放射性セシウム吸収抑制効果」があるとのことですが（東京農業大学 後藤教授らの研究成果）。植物へのセシウムの吸収抑制効果のあるゼオライト施用を積極的に進めるべきと思うが、市長の考えを伺います。  
市長▼議員ご指摘のとおりで、ゼオライトが植物へのセシウム吸収の抑制効果があるということが最近よく知られるようになって、福島県でもそのような方法で農地の除染をしていくということになってきているようです。角田市として、ゼオライトの施用を積極的に進めてはどうかという質問ですが、現在、宮城県として農地土壌の放射能調査を実施する計画があるというところで、その結果や県の農業研究部門の知見や農業団体等のご意見をいただきながら検討し、判断していきたいと思っております。

○角田市放射性物質除染基本方針について

角田市農業の館の管理運営に関する調査特別委員会

12月定例会での修正議案の可決を受けて、12月22日に、議員全員で構成する新たな特別委員会が設置されました。この委員会は、農業の館の問題点、管理運営のあり方を調査し、施設の有効活用に向けて検討するものです。

委員長 玉手 安博  
副委員長 伊藤 善昭

(閉会中の継続調査事件)  
○角田市農業の館の管理運営に関する事項について



(仮称)仙南クリーンセンター建設に向けての議会の取り組み

12月に開催した会議の内容をお知らせします。

月日	会議名	内容
12月8日(木)	第2回ごみ処理等対策調査特別委員会	市当局から、仙南地域広域行政事務組合に対する(仮称)仙南クリーンセンター建設に伴う地域振興対策として「角田市活性化要望事業(案)」と「毛萱地区地元対策事業(案)」を要望する旨の説明がありました。その内容を受けて、各議員より活発に質疑や意見等が出されました。
12月14日(水)	一般会議	議会基本条例に基づき、「仙南クリーンセンター立地対策委員会」の役員の方々と各会派代表の議員による一般会議を地元公民館を会場に開催しました。建設場所である毛萱地区の方々の考えや要望について意見交換をしました。
12月16日(金)	第3回ごみ処理等対策調査特別委員会	第2回の委員会で、市長から示された地元対策要望事業等について慎重に審議され、当該要望事業については全会一致で同意されました。市長はこれを受けて、仙南地域広域行政事務組合に対し、正式に本市の要望として報告しました。



# 市議会2月定例会

## 日程(予定)のお知らせ

- 2月 13日(月) 招集告示、会派代表者会議  
 17日(金) 議員協議会、議会運営委員会  
 20日(月) 本会議(提案理由の説明)  
 会派代表者会議  
 21日(火) 議会運営委員会  
 24日(金) 常任委員会(請願審査)  
 27日(月) 本会議(質疑)  
 予算審査特別委員会ほか
- 3月 1日(木) 議会運営委員会  
 2日(金) 本会議(討論・表決)  
 予算審査特別委員会ほか  
 5日(月) 予算審査特別委員会  
 会派代表者会議  
 6日(火) 予算審査特別委員会分科会  
 7日(水) 予算審査特別委員会分科会  
 8日(木) 常任委員会(議案審査)  
 9日(金) 常任委員会(議案審査)  
 12日(月) 予算審査特別委員会  
 13日(火) 本会議(一般質問)  
 14日(水) 本会議(一般質問)  
 議会運営委員会  
 15日(木) 本会議

※請願及び陳情等の提出期限は、2月13日(月)までとなります。  
 ※本会議の開会時刻は、午前10時です。

### 議会を傍聴しませんか。

定例会は、年4回開催されます。皆さんの身近な問題が審議されており、どのような方針で市政が進められていくのか知ることができます。お気軽に足を運んでみませんか。

※日程は変更される場合がありますので、傍聴を希望される場合は、議会事務局(☎63-2124)にお問い合わせください。

**傍聴者数** 第359回(平成23年10月)臨時会 7名  
 第360回(平成23年12月)定例会 49名

## 議会日誌

10月	11月	12月	1月
17日 全員協議会 教育厚生常任委員会協議会	28日 仙南広域組合議会定例会 29日 仙南広域組合議会定例会	29日 議員協議会 30日 平成23年東北地方太平洋沖地震被害対策調査特別委員会	27日 仙南広域組合議会定例会 28日 会派代表者会議
18日 第359回臨時会招集告示 会派代表者会議	1日 市議会だより163号発行	1日 第360回定例会招集告示	1日 市議会だより164号発行
19日 議会報告会班長会議 20日 東北市議会議長会事務局長会議(横手市) 21日 議員協議会 議会運営委員会 大河原町外1市2町保健医療組合議会臨時会	15日 教育厚生常任委員会 17日 全国市議会議長会基地協議会東北部会定期総会(秋田市) 18日 沖縄県南風原町行政視察 石川県かほく市行政視察	1日 総務財政常任委員会 15日 教育厚生常任委員会 16日 ごみ処理等対策調査特別委員会 19日 会派代表者会議 議会運営委員会 20日 本会議(第3日) 21日 本会議(第4日)	6日 会派代表者会議 13日 議会だより編集会議
25日 第359回臨時会 議会改革検討会議	25日 宮城県市議会議長会事務局長研修会(白石市) 26日 議会運営委員会 28日 議員研修会	25日 議会運営委員会 29日 議員協議会 30日 平成23年東北地方太平洋沖地震被害対策調査特別委員会	22日 議会運営委員会 23日 本会議(第5日) 25日 議会運営委員会 27日 議会だより編集会議 28日 仙南広域組合議会定例会 29日 会派代表者会議

### 編集後記



▼新しい年も如月となり、節分・立春を迎える季節になりました。昨年は東日本大震災、台風15号と災害の多い年でした。「絆」という漢字で表現される程、本当に地域のつながり、人と人との心のふれあいの大切さ等、改めて痛感させられました。今年には除染の年になろうかと思えます。角田市は「汚染状況重点調査地域」の指定を受け「放射線対策室」を設置しました。市民の健康や生活環境への影響を限りなく減らすことで不安を払しょくし、安全安心を確保するため、現在、除染実施計画を作成中です。市議会といたしましても、当局と一体となり、角田市の復興に向けて全力で取り組んで参りますので、何卒ご理解・ご協力をお願いいたします。

議会だより編集会議